

障害者雇用拡大へ
農作業を請け負う

浜北区で「ひなり」社員

伊藤忠テクノソリューションズ(東京都)が障害者の雇用促進を目的に設立した子会社「ひなり」の障害のある社員3人が

17日、浜松市浜北区宮口の「スズキ果物農園」(鈴木幸隆代表)で、草刈りなどの作業に取り組んだ。

3人はこれまでに社内のジョブコーチや協力農家による研修を受けた。



16日付で同社に正式入社し、この日は作業服と長靴姿で約2時間、ナシ畑の草刈りやブルーベリーの収穫に従事。3人を指導した鈴木代表(59)は「繁忙期の人手不足解消の戦力として期待している」と話した。

「ひなり」は浜松市南区にオフィスを構え、連携する同市内のNPO法人などから紹介を受けて浜松市や磐田市、牧之原市で米、野菜、果樹、茶を生産する4農家から農作業や軽作業を請け負う。早ければ6月中にも本格的な業務委託を始めるという。

鈴木代表(中央奥)の指導を受けて草刈りに取り組む「ひなり」社員。浜松市浜北区宮口の「スズキ果物農園」